

此の如く前より鷹は親を就るよとてく歌をむる一故事
を記して又彼誘ふ身をつとむ人のいふ事一と云ぬく
鷹も記ひ子とのうと就るよとてく事をつとむと云ふ事
又鳥の記ひ子ハム一てその事れをあれとある事や古語は鷹は
貝と細川京兆ありとせし事ハ貝の音と鷹はあゝりのあれや
とある事とて古寫本や此事をいふ又鷹狩ハ元より軍陣の
備へあり入れを貝も軍貝よとてその備へのうけのりて持と
てとてと君侯ハの記ひき

耳く記鷹うも從好ありぬる事とてく事や

耳く記を呼よとてく事とてく事や